

開 会

委員長

それでは、第3回 行政評価委員会を始める。審議を始めるにあたって、本日の傍聴希望者はあるか。

事務局

本日は傍聴希望者1名です。

委員長

では傍聴希望の方、お入りください。

委員長

それではまず議題1、第2回行政評価委員会のまとめの案が【資料2】です。  
この案は、議事録の内容をベースに、事務局で作成したのですが、委員長の私からはまとめに当たってのポイント等を事務局に伝えています。順番に確認していくので、付け加える点、訂正等あれば、意見をお願いします。皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

< 審 議 >

※意見を受けて、まとめ案を加筆・修正したものを第4回にて再度審議する。

委員長

他に意見等がないようでしたら、次の議題に移りたいと思います。  
次は、議題2「平成25年度の施策評価について」です。  
本日の審議対象は「観光」「文化・国際交流」2つの施策分野（7つの施策展開の方針）です。

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】観光</p> <p>【施策展開の方針】『1 地域資源の有機的連携を促進します』</p>	
委員長	<p>事務事業が観光振興宣伝事業1本にまとめられており、中身が分かりにくい。予算の組み方として便利とか、いろいろ理由はあると思うが、施策と事務事業の内容、関係がきちんと見えないと行政評価を行うことが難しくなる。</p> <p>非常に幅広い施策であるが、「地域資源の有機的連携」とは、具体的にどのようなことを行っているのか。</p>
宝のまち創造室長	<p>確かに「地域資源の有機的連携」という言い方は少し難しい。5月に観光集客戦略を策定しているが、様々な観光資源、歌劇、中山寺、清荒神、西谷の自然など、ひとつひとつではなく関連付けて見てほしい。無理やり神社仏閣を勧めるのではなく、芸術文化の小宇宙というか、街中を音楽学校の生徒が歩いていたりする空間を、歌劇好きの方には楽しんでほしい。手塚治虫記念館にしてもアニメと歌劇の接点として、複数の施設を関連付けて楽しんでもらえるようにしたい。</p>
委員長	<p>観光振興宣伝事業などはまとめて書くのではなく、中身の細かい事業ごとに金額を示したり、概要を説明してもらいたい。また、一見すると各施設の連携等に役立ったようには見えないのだが。</p>
宝のまち創造室長	<p>歌劇の殿堂、手塚治虫記念館、文化創造館で相互割引を始めている。また、情報誌のページを買い取りワンポイントでなくエリア全体で紹介する手法をとったりしている。</p>
委員長	<p>それらの事業内容は、この施策展開の方針を策定した際に思い描いていた内容と合致しているのか若干疑問だが。</p>
委員	<p>観光誘客入り込み数が約850万人。どれくらいの金額が市に落ちたのか。</p>
宝のまち創造室長	<p>経済効果は測定できていない。</p>
委員	<p>宝塚市にとって、観光客を呼び込む意味は何か。</p>

宝のまち創造室長	近隣での飲食や宿泊など、様々な点で観光客に期待をしている。
委員	観光誘客入り込み数の目標965万。あと100万人増やす手立ては。
宝のまち創造室長	歌劇の集客が年100万人。ちょうどそれくらい増やさないといけないが、各施設が少しずつ誘客数を増やしながら目標値に近づけていきたい。

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】観光</p> <p>【施策展開の方針】『2 宝塚歌劇をはじめとする関係機関との連携や情報発信力を強化し、総合的な事業展開を進めます』</p>	
委員	<p>重点取り組み項目として「市民参画による観光集客戦略の企画・実践組織の整備」とあるが、具体的な事務事業が見当たらない。</p> <p>また、シティプロモーションに関して、マスコミへの露出数などを効果測定のためにカウントしている自治体もあるようだが、そういった指標を考えてはどうか。</p>
宝のまち創造室長	<p>広報課ではマスコミ発表を行った案件とその掲載実績について把握しているが、指標にしようという発想は無かった。今後検討したい。</p> <p>観光集客戦略を策定する際、地元の事業者にも入ってもらい会議を行った。市民ガイドボランティアを募り育成も行っている。また、宝塚国際観光協会もある。市民ガイドの活躍の場も設けながら、事業者と一緒に入っていけるテーブルを用意し、そこから新しい事業が生まれればと考えている。具体的な体制は検討中。</p>
委員	<p>具体的な事務事業はまだ無いのか。それとも観光振興宣伝事業の中で何かやっているのか。</p>
宝のまち創造室長	<p>ボランティアガイド育成に関しては事業費を取っているが、体制づくりに関しては事業をあげるところまで行っていない。</p>
委員	<p>歌劇と手塚治虫記念館が観光の2本柱のようだが宝塚にはもっと多くの観光資源があるのではないかと。こんな小さい市に11の駅がある。駅から派生する観光ルートなどを作ってはどうか。市の中心部だけの観光施策になっているようだが、宝塚滞在時間が短い、落とすお金が5000円程度とのことだが、いろんなポイントを見せていくことが大切なのではないか。</p>
宝のまち創造室長	<p>歌劇100周年、手塚治虫記念館20周年と、どうしてもそちらにポイントを置きがちだが、西谷の自然、競馬場など、もっといろいろ見てもらうためにボランティアガイドの育成を行っている。「花の道」と「武田尾散策」の2つのモデルツアーコースを実施しているが、雲雀ガ丘の大正期住宅ツアーや小浜の街並み、ゴルフ場食事ツアーなどの提案もあつ</p>

<p>観光企画係長</p>	<p>た。今後コースを増やしていければよいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>他にも市職員や観光協会職員が、市内観光資源を連携させたツアーを企画し、全国の旅行代理店に提案したりしており、実際に商品化されたものもある。</p>
<p>委員</p>	<p>観光の関係で駅中心に考えてはという意見があったが、私もいい案だと思う。また、小浜の歴史資料館などもっと上手くアピールすべき。すこし宣伝下手だなと感じる。</p>
<p>委員</p>	<p>西谷の観光の問題で農園について、自然休養村運営事業だが西谷地区の組合と連携でやっているのか。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>ダリア祭は佐曽利園芸組合と、収穫祭は西谷地区の自治会や農会で組織する宝塚自然休養村管理運営協議会と一緒に開催している。</p>
<p>委員</p>	<p>話題になっている「つりしのぶ」について、行政とのかかわりはないのか。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>宝塚ブランド、モノ・コト・バに選定している。</p>
<p>委員</p>	<p>もっといろんな人に「つりしのぶ」を知ってもらえるようアピールしてはどうか。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>かつて宝塚にも観光案内所があったが行革で無くなった。今年オープンしたアンテナショップに観光パンフレットを置くなど、少しずつだが取り組みを進めている。</p>
<p>委員</p>	<p>歌劇100年シティプロモーション事業では何を行っているのか。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>宝塚市が全国に知られているのは歌劇のおかげ。宝塚歌劇は市にとってかけがえのない存在である。100周年を機に歌劇の功績を讃え、その魅力をもっと市民に知ってもらい、そして歌劇のあるまち宝塚市に住まう喜びを感じていただきたい。市外の方へも宝塚の魅力を発信し、集客につなげていきたい。具体的には、表彰等に向けた国県への働きかけや歌劇関係の講演会の開催などを行った。</p>

委員長	宝塚歌劇100周年事業の中のOGツアーとは何か。
宝のまち創造室長	OGがガイドになって市内を案内するもの。一定規模以上の団体が歌劇のOGツアーを希望した場合、OGの人件費分程度、1回30,000円を助成する。
委員	手塚治虫記念館20周年事業は完了しているが。
委員長	手塚治虫記念館20周年事業はサインの設置など単年度で終わる事業ではないか。
委員	駅も多く、歌劇、JRAなどもある。観光資源はたくさんあっても連携は上手くできていないのではないか。相手側から見た場合、宝塚市と連携するメリットとは何か。
宝のまち創造室長	実現は難しいが、1事業者と市が連携するというよりは、市はテーブルを作り。そのテーブルで市内の事業者が知りあったり、話ができる、そういった場を整備することが市の役割と考える。
委員	そのための事業はどう展開されているのか。
観光企画係長	観光集客戦略を策定する際、市内事業者に集まっていたが、JRAと手塚治虫記念館とが話をし、宝塚記念というレースの際に記念館がグッズのブースを出すなど、できるところから連携を始めている。
宝のまち創造室長	手塚治虫記念館管理事業の中で企画展を実施しているが、この企画展をテーマに近隣事業者と連携した取り組みを始めている。
手塚治虫記念館館長	去年と今年、今年の夏休みを中心に、記念館近隣のお店とコラボした企画を実施している。街の経済の活性化につながり、その楽しみがあることで記念館にも全国から人がやってくる。記念館の中で見たり聞いたり触れたりして楽しんでいただくと、外の飲食店でもアニメを舌で楽しんでもらっている。昨年参加された4店舗での売り上げが400万円あった。現在、手塚キャラを街中で展開できないか、実験をしている。

委員	市民参画の捉え方を変えてはどうか。企画そのものから任せるといった発想が必要ではないか。事業者が行う事業を市が応援するとか、そういう方向性のほうが効果的ではないか。
----	---

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】観光</p> <p>【施策展開の方針】『3 武庫川や宝塚大劇場周辺が持つまちの雰囲気・魅力を活用します』</p>	
委員長	<p>前の施策と事業も施策内容も同じに見える。違いが分からない。もう少し施策に見合ったきめ細かい事業構成が必要。また、市の観光において観光噴水というのは必要なのか。</p>
宝のまち創造室長	<p>歴史的な問題もある。ファミリーランドの遺産として残っている。噴水の経済効果は難しいが、大劇場側の河川敷、S字橋からみると景観、雰囲気づくりには貢献していると思う。</p>
委員長	<p>事業費が高すぎる。それだけの効果はないのではないかな。</p>
委員	<p>いつ出しているのか。</p>
観光企画係長	<p>5～9月 9:00～21:00 30分に1回。10～4月 9:00～19:00 30分に1回。</p>
委員一同	<p>見た記憶がない。</p>
委員長	<p>費用対効果が低すぎると感じる。他のことをやったほうが予算を効果的に使えるのではないかな。</p>
委員	<p>経費を抑えながら、例えば見ると幸せになるとか、ちょっとした工夫や仕掛けでシティプロモーションにつながるとよいのだが。</p>
委員	<p>外国人観光客が増えているがどこの国の人か。</p>
宝のまち創造室長	<p>国籍をすべて拾えていないが、手塚治虫記念館では、外国語のパンフレットの配布数から、国籍をカウントしている。</p>
手塚治虫記念館館長	<p>手塚治虫記念館に限って言うと、現在、1割が外国人。H23年度 5,700人、H24、25年度 10,000人、今年度も年 10,000人ペース。台湾からの観光客が一番多く、次いで韓国、中国本土、タイ、マレーシア、フランスといったところ。外交上の問題に大きく左右される。最近、中国からの客が増えているが、旅行社の話として、タイの政情不安を受けて、日</p>

	<p>本に流れたりしているようだ。</p>
<p>委員長</p>	<p>温泉施設等管理事業について、民間にもお湯を供給しているのか</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>泉源地の管理を市が行っている。</p>
<p>委員長</p>	<p>お湯を売ったお金はどれくらいか。</p>
<p>観光企画係長</p>	<p>75万円程度。</p>
<p>委員長</p>	<p>市が泉源地を管理してまで日帰り温泉施設をやる必要はあるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>温泉施設に指定管理者制度を導入し、かつ泉源地の管理にこれだけのお金をかける必然性は無いのではないか。</p>

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】観光</p> <p>【施策展開の方針】『4 国内外からの観光客に優しいまちづくりを推進します』</p>	
委員長	公衆無線LANほどの事業に入っているか。
宝のまち創造室長	手塚治虫記念館で60分間無料の公衆無線LANを導入している。
委員長	外国人観光客の集客を考えると公衆無線LANの整備は有効。京都市などでも地下鉄、バスなどで公衆無線LANを整備している。先進事例等も参考にしてはどうか。生身のガイドもよいが、旅先での情報収集にはやはりスマートフォンやノートパッドなどが便利。宝塚のイメージに合うかどうかは疑問だが、外国人客を呼ぶだけなら簡易宿泊所、安い宿を用意するとバックパッカーが大勢やってくる。
委員	年間850万人の観光客のうち宝塚に泊まる人はどれくらいか。あまり多くないと思うが、宿泊者を増やしていかないと歌劇から別のエリアに集客効果が広がらないのではないか。
手塚治虫記念館館長	記念館と旅館との連携プランをしている。近くの旅館などに宿泊して、朝開館前から並んでいる人もいる。外国からの団体客が旅館に宿泊し、翌日記念館にくるケースも増えている。
宝のまち創造室長	少し古いデータだが、平成23年度では、宿泊者は全体の2%程度。
手塚治虫記念館館長	いろんな観光資源を商品にみたてて、磨いて連携させていく必要がある。一つではダメ。市域だけでなく広く、甲子園球場や六甲山やグリコピア、ラーメン館など、様々な施設、資源と連携を図っていく必要がある。手塚治虫記念館は地元だけでなく阪神間の外から、いろんな圏域から訪れる。そういう人たちに記念館の魅力、情報を発信していくにはやはりHPなどITによる発信が効果的。今年4月から世界の人々にストリートビューで館内の一部を見てもらえるようになっている。それを見て実際にシンガポールから研修に訪れた団体もいる。
委員	国内外からの観光客に優しいまちづくりというのは、標識とボランティアガイドだけではない。歌劇に毎日通う人もいる。安い女性向けの宿な

<p>委員</p>	<p>どあれば泊まる人もいるのでは。見ていると劇場から出て一直線に駅に向かっている。足を止めてもらうためのリサーチが必要ではないか。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>市内にある宿泊施設が少なくなっている。今、どれくらい的人数が宿泊できるのか。</p>
<p>委員</p>	<p>11件の宿泊施設。おおよそ1000人が宿泊できる。</p>
<p>委員</p>	<p>武田尾の温泉旅館も含めての数字か。</p>
<p>宝のまち創造室長</p>	<p>含んでいる。</p>

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】文化・国際交流</p> <p>【施策展開の方針】</p> <p>『1 戦略的な文化・国際交流事業を推進します』</p>	
委員長	文化と国際交流をくっつけているのはどういう意図か。真意が測りづらいのだが。
宝のまち創造室長	総合計画策定の際に「文化・国際交流」を一項目としていた。将来的には見直していきたい。
委員長	宝塚文化の創造と発信というが、施策からはそれが見えてこない。また小さな自治体ならともかく、宝塚市のような一定規模の自治体の文化施策が、市民の文化活動支援レベルなのは少し寂しいのではないか。
宝のまち創造室長	宝塚文化の創造と発信というフレーズはよく使われる。宝塚文化のイメージには歌劇に代表される大正期の阪神モダニズムがある。この阪神モダニズムを礎に様々なものをミックスしながら作り上げていくのが宝塚文化だと考える。市民の芸術活動支援については計画づくりを始めている。
文化政策課長	宝塚映画祭への補助を除くと文化芸術への補助は行っていない。文化財団が宝塚文化団体連絡会というものを組織、連絡会を通じて子どもたちへの文化体験事業を行うなどの活動を行っている。
委員	松江市との交流事業だが、行政、議会の交流が主で、市民との交流は無いのではないか。
生涯学習室長	スポーツ少年団交流事業を行い、夏休みに宝塚、松江交互に訪問しあう事業を実施。また4月には生涯スポーツ交流として60歳以上のスポーツ団体の交流を行っている。
委員	文化的な交流は行っていないのか。観光ではどうか。
企画経営部長	市民レベルではスポーツ交流のみ行っている。

委員	老人会や自治会の交流などを検討したことはあるか。
企画経営部長	これまではないが今後はそういった交流を視野に入れることも検討する。
委員	だんじりパレードの費用は。地元の保存会は費用を負担しているのか。
宝のまち創造室長	<p>県のツーリズム協会からの補助が出ている。保存会からも実行委員会として費用を負担している。</p> <p>※会終了時に宝のまち創造室長より補足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度 市単費 90万 これとは別に県ツーリズム協会から補助金が300万実行委員会に入っている。</li> <li>・H24年度 事業費380万のうち市単費は180万。県からの補助200万が市に入り、事業費合計380万となっている。</li> </ul>
委員長	H24年度は前年度から人件費激増しているがなぜか。
宝のまち創造室長	前年からルートが変わり、警備員等の増員が必要となったため。
委員長	国際交流事業の中の母語教室の経費はどれくらいか。
文化政策課長	宝塚ジョイアという事業。H22～24年度まで県費事業。H25年度は市事業として実施。H25年度事業費が240万。
委員長	必要性のある事業なのか。
文化政策課長	市内の工場で働く外国人労働者の子どもに向けた事業。日本の景気、ブラジルの景気などの要因で、新しい子どもが増えないので外国人労働者の子どもの数は減る一方。ただ、数は少なくとも継続して実施すべき事業と認識している。
委員長	ポルトガル語を教えるのか。
文化政策課長	日本に住み日本の学校に通うため、ポルトガル語が話せなくなる。反対に親は日本語が話せず、家庭内でのコミュニケーションが難しくなる。反対に親への日本語講座もやっている。

委員長	どちらか一方でいいのではないか。両方続ける必要性をあまり感じない。
委員	宝塚文化創造館の利用率が約68%となっている。低いような気がする。
文化政策課長	現在の稼働率で満足しているわけではない。更に多くの方に利用してもらえるよう努力していく。

<p>【基本目標】観光・文化・産業</p> <p>【施策】文化・国際交流</p> <p>【施策展開の方針】『2 文化振興財団や国際交流協会と連携し、市民主体の文化・国際交流活動を支援するとともに、国際理解を推進します』</p>	
委員長	総合的に見て、この前の施策展開の方針『1 戦略的な文化・国際交流事業を推進します』とどう違うのか。
宝のまち創造室長	文化と国政交流は分けていく方向で、今後見直していきたい。
委員	ここまでの施策評価表において、全て「役割分担の見直しを行う」という結論になっているが、市が行いたいことがよくわからない。
宝のまち創造室長	どれも行政だけでやる事業ではない。役割分担といってもなかなか難しい。時と場合によって適切な役割分担は変わってくると考えている。
委員	小浜工房館運営委員会について、どこの組織なのか。
宝のまち創造室長	地域主体で作った組織です。
文化政策課長	工房館を作るとき地元の意見を聴きながら話を勧めたが、その時の地元代表がそのまま運営委員会の母体となったのではないか。
委員	指定管理の期間は。
文化政策課長	5年です。
委員	指定管理者募集の際、応募は1者のみか。
文化政策課長	おそらく1者のみだったと思う。
委員	指定管理はよいが施設の管理、指導などをきちんと行うようにしてほしい。
委員長	1000万かけてやらなければならない事業かと感じる。

委員	国際協力NPO団体数が11団体ある。この11団体と今後何か事業を行う考えがあるか。
宝のまち創造室長	11団体すべて実態を把握はできていないが、内何団体かとは、連携出来ている。
委員	海外支援をしたいというNPOが増えている。国際交流を進めるにあたってはその辺りも意識しておいてほしい。

<p>【基本目標】 観光・文化・産業</p> <p>【施策】 文化・国際交流</p> <p>【施策展開の方針】『3 市内に残る多くの文化遺産の保全継承と活用に努めます』</p>	
委員	<p>成果指標が設定されていないが。小浜資料館や旧和田邸の入館者増を目指すとあるが、それを指標にすればよいのではないか。</p>
事務局	<p>総合計画の策定当時、相応しい指標が無く設定しなかったのだと思う。</p>
委員長	<p>施策展開の方針としてわざわざ書くのであれば、何か設定しておくべき。また、事務事業も手薄。施策として内実が寂しいと感じる。歴史民俗資料館管理運営事業の費用対効果をどう考えているか。</p>
生涯学習室長	<p>まず小浜宿資料館について、管理は地域の方をお願いしており 2000 円／日。和田家はシルバー人材センターに委託。</p>
委員長	<p>事業費がかかりすぎではないか。他にどんな経費があるのか。</p>
生涯学習室長	<p>機械警備の委託費。施設の維持管理費。</p>
委員長	<p>興味はあるが駅から遠いし駐車場もないし行きづらい。</p>

委員長	議題2の審議はここまでとしたい。 他に何かあれば発言願いたい。
委員	前回もそうだったが委託や指定管理が多く中身が分かりにくく、また、少し委託先や指定管理者に任せきりにしすぎていないか。行政は責任を持って事業に当たるべき。
委員	指定管理や委託事業にしても、数字、目標で事業者を縛るのでなく、よい自由度を与えられるような事業の出し方ができないか。事業の丸投げをせず、コンセプトや方針をきちんと考えて事業を行ってほしい。
委員長	では次回の日程等について事務局より説明願いたい  <第4回（9月5日）について事務局より説明>
委員長	報告書の体裁や今後のスケジュールについても説明願いたい。
委員長	では、本日の委員会はここまでとします。ありがとうございました。